

令和5年度 豊明市指定管理者審査委員会 議事録要旨

日時 令和5年8月23日（水）
午前 午後3時45分～
場所 豊明市共生交流プラザ

※敬称略

出席委員：鈴木、石井、宇佐見、萩野、松村、相羽

事務局：共生社会課長、協働推進担当係長、地域共生担当係長

指定管理者：株式会社トヨタエンタプライズ（以下「指定管理者」という。）

事務局より

当会議は非公開会議とする。企業ノウハウ等が含まれる資料も部外秘のため、ご配慮いただきたい。

委員6名のうち出席6名で過半数以上の出席により会議は成立。

1. 委員長あいさつ

2. 議題

（1）令和4年度指定管理実績報告について

令和4年度豊明市共生交流プラザ事業報告書に基づき指定管理者より報告。

質疑・意見等

（委員）

貸館稼働率について、多くの日数かつ、長い時間稼働しているが、事業報告書に記載の実績値は他の施設等と比べてどのように捉えているか。

（指定管理者）

貸館対象となる部屋が15部屋、1部屋当たり5コマとコマ数が多いため稼働率が低く出る傾向にあるが、その点を加味した上で考えると比較的高い稼働率になっていると判断している。同様のコマ数で稼働している施設で、同様の実績値を得るのは相当困難であると感じる。

（2）令和4年度モニタリングレポート（年次評価）について

共生交流プラザの運営等に係る令和4年度のモニタリングに基づき、モニタリングレポート（年次評価）について事務局より説明。

また、指定管理者の経営に関する事項については事前に石井委員に分析を依頼し、分析結果の報告を次のとおり受けた。

「新型コロナウイルス感染症や急激な物価上昇の影響等がありながらも、売上水準や利益率水準を維持している。全体を見て、財政状況に格段の不安はないものといえる」

以上のことから、審査委員会としてのコメントは、次のとおりとした。

「社会へのひとつのモデルとして、廃校を地域でうまく活用している成功事例となっている。共生交流プラザの独自性を活かし、社会に対する良い波

及効果が生まれるような施設を目指していただきたい。また、コンセプトや理念がしっかりとしているため、利用者からの要望などに対して柔軟に対応できている。職員に対する評判も良く、利用者が施設等の全体をよく見ている印象を受ける。現状に満足することなく、引き続き利用者に喜ばれる施設運営をしていただきたい」

(3) 令和5年度指定管理者事業計画について
令和5年度事業計画に基づき指定管理者より説明。

質疑・意見等

(委員)

令和4年度実績に基づいて見れば、十分可能な計画だと思う。

3. その他

事務局より、議事録とモニタリングレポートについてホームページに掲載する旨説明。